

マナビィ

いわてまち

岩手町教育委員会広報誌

2021

秋・冬号

R3.12.9 発行

アイルランド女子ホッケーチームとの オンライン交流会開催



多くの皆さんが参加してくれました！

十一月十二日、町ではホ
ストタウン交流事業の一環
として、アイルランド女子
ホッケーチームとのオンラ
イン交流会を開催しまし
た。交流会には、町からは七
月の事前合宿時に交流のあ
った約五十名が出席。アイ
ルランド側からは、ホッケー
チームキャプテンのカテ
イ・ムーラン選手、エレ
ナ・タイス選手ら四名が参
加し、画面上で交流しまし
た。

はじめに、町で作成した
メッセージビデオを鑑賞。
その後の質問コーナーで
は、参加者が選手らへ英語
で質問をしました。質問内
容は、ホッケーの練習内容
や岩手町での思い出等多岐
にわたりました。選手から
は、「歓迎セレモニーでの郷
土芸能や、町民による出迎
えや見送りがとても印象に
残っている」と話がありま
した。アイルランド側から
の質問には、沼宮内高校の
生徒が英語で答える場面も
あり、和やかな雰囲気でも
なりました。

最後に、アイルランド
の選手らとスポーツ少年
団代表三名で画面越しに
リフティング対決を行
いました。結果は、接戦の末
岩手町チームが勝利！会
場中が盛り上がり、楽し
い時間となりました。

なお、今回のメッセー
ジビデオは、「岩手町公式
YouTubeチャンネルでも
見ることが出来ます。皆
さんもぜひチェックして
みてください。

ビデオの一場面



たくさん遊んで学んで

すくすく育つ子どもたちを紹介！

原稿作成へのご協力を
いただいた先生方、あり
がとうございました。



沼宮内保育所

『「コロナ」に負けない体力作り』

沼宮内保育所では子どもたちの体力作りのため、昨年度からマラソンを始めました。三・四・五歳児が園庭を曲が流れている約三分間それぞれのペースで完走します。

「今年度もマラソンしたい」と笑顔で楽しんでくれた子どもたちでしたが毎日続けて行っていくうちにスピードも早くなり、今では早い子で園庭を五周走る程になりました。

また、マラソンと一緒にやっているのが縄跳びです。縄跳びは四・五歳児が対象となっていますが、前跳び、後跳び、ケンケン跳び、交差跳び、あや跳びと様々な技に挑戦しています。

この他に、体操をしたり、天気の良い日は散歩に出かけ体力作りをしたりし、今年度は親子遠足で初めて親子で歩いて石神の丘まで出かけてきました。

今、外で遊ぶ機会が減っているといます。子どもたちと一緒に様々な活動を通して「コロナ」に負けない体力作りを今後も楽しんで行っていきたいと思えます。

川口保育所

『収穫祭』

十一月四日、収穫祭が行われました。四歳児みかん組は豚汁、五歳児すいか組は釜めし作りに挑戦！みかん組が植えたジャガイモ、大根、すいか組が育てたゴボウ、シイタケを使って作ります。皮をむいたり、包丁で切ったり、手で割いたり、皆で様々な方法で下ごしらえ。初めての経験にワクワクしながら取り組む子、経験のある子は、友達に教えてあげていました。

下ごしらえの後は、いよいよ調理です。釜めしは、皆で米を研いだら、材料を全部釜に入れて後はひたすら待つ！「ちゃんときれるかな？」ドキドキの子どもたち。豚汁は、グツグツ煮えていい匂いがしてくると、子どもたちの歓声が聞かれました。

完成した豚汁と釜めしは、園庭で食べました。青空の下、皆で食べるご飯は格別だった様です。今年度もコロナの為、毎年行っていた世代間交流が出来ませんでした。来年はぜひ出来ると思い考えています。

一方井保育所

『楽しかったお楽しみバス遠足』

一方井保育所では、新型コロナウイルス感染症感染防止のため例年行っている「親子バス遠足」が中止になる中「お楽しみバス遠足」として子どもたちだけでバスに乗って近場に行き、楽しんでいきます。

十月には、岩手県民の森、森林ふれあい学習館フォレストーに行ってきました。

沢山の枝や様々な木の実を使って、松ぼっくり工作をしました。学習館の方からグルーガンの使い方を教えてもらい、初めてのグルーガンにちよつとドキドキしながらも「うさぎ」「はりねずみ」「恐竜」など、自分の好きな物を作ってきました。

沢山の木の実があり、どれを使おうか迷いながらもイメージして、大作が出来上がりました。

その後は木でできた三階建ての秘密基地の滑り台や玩具で遊び、大自然の中でおいしいお弁当をたべました。

まだまだコロナ禍で様々な制限があります。普段保育所ではできない体験をこれからもしていけたらと思います。

川口保育所『収穫祭』



シイタケを手で割いているよ



わー！いい匂い！

みんなでいただきます！



沼宮内保育所『体力づくり』



マラソン



なわとび



親子で

遠足

水堀保育所

『お米ができるまで』

水堀保育所から見える田んぼは、春から秋にかけて四季折々の風情を見せてくれます。

今年も地域の方(横澤稔秋さん)のご厚意で田植え体験をさせていただきました。

初夏、暑い日差しを受けながら冷たい田んぼの中へ。小さな体で苗を持つ手はちよつと緊張気味！「おとつとつと」転びそうになりながらも、一つ一つ丁寧に植えていきます。

苗が倒れて「むずかしい」と言っていた子ども達も徐々に上手になり、夢中になっていたところに「こしがいたい！」の声、昔の人の大変さを実感していました。

お散歩がてらに稲の生長を見に行くのも欠かせません。

いよいよ稲刈りの日、黄金色に染まったお米たちに子どもたちのコンバインのハンドルを持つ手が震えます。

この体験を通して、食物を育てるということの大変さや食べることができる有難さを、子どもたちの心の中に感じてもらえたらいいと思います。



松ぼっくり工作

一方井保育所『バス遠足』

何を作ろうかな？



秘密基地で遊んだよ



お弁当にも大満足！

水堀保育所『お米のしく』



田植えてって大変なんだね



どんどん大きくなってきた！



コンバインに乗って稲刈り体験

種芋から育てたよ！



岩手中央幼稚園 『作物栽培』

年長さんはお米作りも！



こんなに大きくなったよ！



弾ける笑顔で園外保育！



岩手城山保育園 『にぎやかな日常』

みんな大好き
ブランコ遊び



地域を守る！城山幼年消防クラブ



社会福祉法人 岩手城山保育園

『いつもにぎやかな城山保育園』

昭和八年、地域に貢献できる保育園として開園し八九年になります。

たくさん卒園生を送り出し、現在は0歳児から五歳児まで七四名の子どもたちが毎日にぎやかに過ごしています。仏教園でもある我が園は、朝は「お釈迦様、おはようございます」から始まり、皆が見える所からいつも私たちを見守ってくださることに小さな手を合わせ感謝している子どもたちです。

十月一日は三歳以上児クラスの園外保育でした。あいにくの曇り空ではありませんでしたが、目的地の沼宮内公園まで歩きました。途中、キノコを発見し「食べられるの」「変わった色だね」「大きいね」など、頭をくつつけて熱心に観察をしていました。

本園の基本目標でもある、正しい言葉で友だちと話し合う。美しいものを「きれい！」と言える素直な心を育てる。よく考え自分から行動する。様々な活動を通し、パワフルで可愛い子どもたちの心と身体を健やかに育んでいけるよう、笑い声の絶えない保育園を目指し、保育を進めているところです。

岩手中央幼稚園

『自然と共に育む 生きる喜び！』

岩手中央幼稚園のお隣に大きな畑。毎年、子どもたちと共に作物栽培を行っています。今年もジャガイモや大きなサツマイモが獲れました！長靴を履いて、手を真っ黒にした小さな農家さんたちは「おおきーい」「早く食べたい！」と歓声です。春に種芋や苗から育て、生長を見守ってきたので収穫の喜びは格別です。さらに年長児は田んぼで田植えから稲刈りまでも経験しています。当たり前のことですが、作物の生長観察を通して、作物も自分たちと同じように大きくなり大切な命があるということや「大きくなるって嬉しい」と喜びを感じ取れるよう活動しています。「みんなも愛情をたっぷりもらって大きくなっているんだよね」。こうした活動からも自己肯定感を育んでいるところです。

コロナ禍の中でも子どもたちはいつも元気！「手洗い・うがい・消毒・マスク・我慢」を健気に守りながら毎日を楽しんでいます。早くマスクなしで子どもたちを思いきり抱きしめられる日が来ますように。